

第1節 全体整備構想

1. 事業の基本理念

中心市街地活性化計画の基本理念に基づき、「生活するまち」の実現と、歴史性豊かな資源の活用による「再生」と、新しい新発田の歴史の「創造」を図ります。

歴史の再生と創造するまち 寺町・清水谷

—城下町新発田の歴史を育み、誇れるまちづくり—

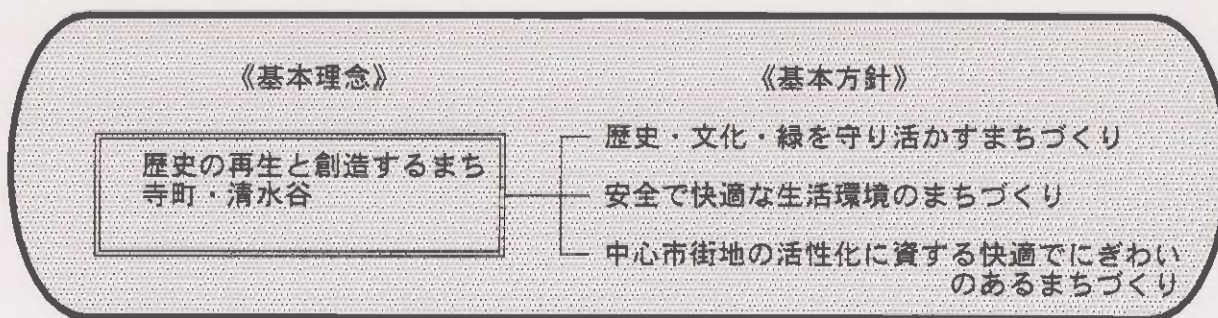
寺町・清水谷地区は、かつて、城下町新発田にあって、諏訪神社の門前町や上鉄砲町の職人の町としてのにぎわいや、寺町の落ち着いた街なみ、清水谷の緑豊かなたたずまいなど「にぎわい」と「やすらぎ」が共存しておりました。

新発田市は四百年の歴史をもつ城下町ですが、平成の新たなまちづくりにおいても、この「にぎわい」と「やすらぎ」をあわせもつ、魅力的で住みよいまちを創造したいと考えます。

街なみ環境整備を推進するにあたり、こうした、まちの個性や魅力を見直し、新たなまちづくりに活かしていくことが重要であり、「温故知新」という言葉があるように、古き良きものを積極的に活かすとともに、新しい視点や感覚、手法などを取りり入れながら、人間性豊かな「再生」と「創造」による生活するまちの実現を図っていきたいと考えます。

こうしたことから、街なみ環境整備事業の基本方針として、歴史的な資産を最大限活かし、まちに住む人を育み、心の温かさや優しさを感じることのできるまちづくりを進めます。

2. 事業の基本方針



(1) 歴史・文化・緑を守り活かすまちづくり

城下町としてのまちづくりから四百年もの年月を経て、新発田市のまちの姿も大きく変わりましたが、寺院や神社が集積し、緑豊かな本地区は、いまなお城下町の面影を色濃く残しているところです。

このため、これからのまちづくりにおいても、地区の豊かな歴史・文化資源や緑豊かな地域環境を守り、市民全体が誇れるまちを目指し、これらを活かしたまちづくりを進めます。

(2) 安全で快適な生活環境のまちづくり

新発田市の中心部に位置する本地区は、たくさんの人々の生活の場でもあります。市街地に位置するということは、交通事故や火災等の都市災害の危険性が少なくありません。

このため、子どもやお年寄りまでだれでもが、安心して歩いて暮らせるまちづくりなど安全性の向上に配慮したまちづくりを進めます。

また、本地区の緑豊かな環境を活かし、城下町らしい落ち着いたデザインのまちなみの形成などによる快適な生活環境のまちづくりを進めます。

(3) 中心市街地の活性化に資する快適でにぎわいのあるまちづくり

新発田市の中心地にある本地区は、市内でも特に利便性に優れたところであるといえますが、車社会の発達や郊外に大型店舗の立地等によって客足が徐々に遠のき、地域の商店街の活力が少しずつ失われつつあります。一方で、清水園や足軽長屋、などを有することから、多くの観光客などが訪れています。

こうしたことから、歴史的資源を活かした地域商業の活性化や市民全体が快適でにぎわいのあるまちづくりをすすめます。

3. 事業地区の設定

道路や地理的側面、現在の街なみの状況などを勘案して、寺町・清水谷地区の歴史的資源を活かし、また保全を推進していくため、当該地区の全体から、特性に応じて8つの地区を設定し、個々の地区の特徴を活かした事業の推進を図ります

- 市役所周辺地区
- 寺町北地区
- 中央商店街地区
- 寺町南地区
- 諏訪前商店街地区
- 諏訪前東公園通り地区
- 清水園周辺地区
- 上鉄砲町地区

□市役所周辺地区

- ・公共施設等と一体となった、落ち着いた品格のあるまちづくり

市役所や病院、商工会議所、幼稚園、生涯学習施設などが立地し、閑静な住宅地が形成されている地区です。

落ち着いた住宅地のたたずまい、官公庁や公共施設、さらに城下町新発田の中心新発田城との近接性などを活かした利便性の高い特性を活かして、歩行環境の向上、快適でうるおいある生け垣化の促進、周遊ルート案内板の設置などを進めます。

□寺町北地区

- ・歴史性豊かで、安全・快適なまちづくり

寺町の北側に位置し、法華寺、蓮昌寺、真称寺、瑞雲寺が立地しており、今でも城下町の面影が残っています。

歴史性豊かで安全・快適なまちづくりを目指して、植栽帯等の整備や歩行環境の向上を図るとともに、周遊ルート案内板の設置、ブロック塀の生垣化を進めます。

□中央商店街地区

- ・市の中心地として歴史的施設と一体となった快適な商店街

主要地方道新発田停車場線沿いに形成されている中央商店街を含む地区です。商店にはアーケードが設置され、歩道も歩きやすく整備されています。また、周辺区域に寺町・清水谷と近接している地区です。

市の中心商店街として歴史的施設と一体となった快適なまちづくりを目指し、商店の協力による歩行環境の維持・向上、周遊ルート案内板の設置などを進めます。

□ 寺町南地区

・「歴史のみち」の中心地区としての魅力あるまちづくり

寺町の南側に位置し、地区中央の道路両側に宝光寺、三光寺、託明寺、信行寺、相円寺、福勝寺が立地する地区です。地区西側の寺院裏手に旧堀（新発田川）が流れています。

「歴史のみち」の中心地区としての魅力あるまちづくりを目指し、寺町の落ち着いたたたずまいを活かした修景整備や行政と市民が一体となった歩行環境の整備、川沿いの快適空間の整備等、市民が快適で城下町新発田の歴史的資源を活かした整備を進めます。

□ 諏訪前商店街地区

・寺町・清水谷地区のにぎわいを創出を支援するまちづくり

諏訪神社の南、大栄商店街を含む地区です。立売交差点から西にアーケードが設置されています。落ち着いたたたずまいを創出するまちづくりを目指し、公共施設や店舗の景観形成をはかり、街なみ景観と快適性の向上を図ります。

□ 諏訪前東公園通り地区

・寺町・清水谷地区の玄関として誇れる緑豊かな街なみ空間の創造

本市の歴史的なシンボルである諏訪神社と市民の憩いの場となっている東公園が立地し、ＪＲ新発田駅からのゲートウェイ（玄関口）に位置する地区です。諏訪前には歩道に並木が整備されています。

シンボルゾーン及びゲートウェイとしての地区特性を踏まえ、寺町・清水谷地区の玄関として誇れる緑豊かで誰もが行き交う空間の創出を目指し、歩行環境の整備や寺町・清水谷地区の景観と調和のとれた街なみ空間の創造をはかります。

□ 清水園周辺地区

・観光資源と住民生活が調和した落ち着いたたたずまいを創出するまちづくり

新発田川が地区の南北を貫いて流れ、本市の代表的な観光資源のひとつである清水園や足軽長屋を中心に、住宅地が形成されている地区です。

歴史性豊かな観光資源と住民生活が調和した落ち着いたたたずまいのまちづくりを目指し、住民や観光客等が共生し、ゆったりと散策できる歩行環境や河川環境の向上、川沿い景観の整備などを進めます。

□ 上鉄砲町地区

・生活環境に密着した個性あるまちづくり

清水園・足軽長屋に隣接して形成されている上鉄商店会を中心とする地区です。

生活環境に密着した歴史的資源と連携した、個性あるまちづくりを進めます。

4. 重点区域の設定

中心市街地活性化計画においては、「歴史のみち」として今も当時の歴史性豊かな面影を残す寺町・清水谷の表通り（寺町線・清水谷線・七軒町寺町線）が位置づけられているほか、新発田川沿線は市民にとって最も重要な水辺環境であり、「水のみち」として位置づけられ、重点的な整備を進めていく方針が示されております。

また 新発田市の主要観光ルートとして、清水園・足軽長屋・酒蔵などを巡るルートが最も一般的であり、特に諏訪神社前は新発田市の最大のイベントである新発田まつりのメイン会場として、また年末年始の初詣などにおいても、近隣神社の中心地として諏訪前東公園通り地区は活用されています。

そのようなことから、重点地区として、

- ①寺町南地区
- ②清水谷地区
- ③諏訪前東公園通り地区

3つの区域で、次の図面に示す主要道路及び河川に面している地区を重点地区として指定し、事業を展開していくこととします。

また、他の地区については、重点的に整備を図るべき地区を支援し、歴史的資源を活かしていく地区とします。